



うわっ！貧雪悪雪八幡平

## 八幡平 茶臼岳他スキーツアー

藤本

【日時】2006年12月30日（土）～2007年1月2日

【メンバー】藤本（L）、中村（SL）、野村、池田、後藤

### 2006年12月30日 天気晴れ（八幡平スキー場）

直前まで雪不足、どころか雨！に悩まされ、八甲田に転進かも…と弱気になりながらたどり着いた八幡平。初日はゲレンデで足慣らしです。八幡平スキー場は入口に鳥居と祠がある、ありがたいスキー場。ボーダーがしっかりと拝んでからゲレンデに入る姿を見ると、遠くに来たなあ、とってしまいました。

このゲレンデはコース外滑走が豊富で…というより、みんなコース外を滑っていて、コースには誰もいないという、ゲレンデ内ドーナツ化現象が起きていました。確かに、コース外は急斜面あり、林間あり、沢あり、と充実しています。そして流れているBGMは円広志の「夢想花」でした。とんでとんで…まわってまわって…うう～ん。

（池田記）

【注】上記はあれでも全てコース内。藪が埋まれば本当にドーナツです。

### 2006年12月31日 天気 晴れ時々雪（茶臼岳）

2台の車を駐車場へ移動しに行った2名を、スキー場のレストハウスで待って、9:00頃、全員そろってリフトに。天気はいいが風が強い。リフト頂上部の大黒森もさらに風は強く、少し下ってシールを付ける。樹林帯を掻き分け行くと、はっきりした茶臼岳までのスキーツアーコースに合流。程なく、ものすごい数の団体に。装備をみると、テレマーク、アルペンスキー、スノーボードと多種多彩。たぶんガイド付きなのだろう。そんなわけで、茶臼岳までのこのコースは、途中、やらせのビデオ・写真撮影などしながらのんびりと進む。

茶臼岳山荘が見える頃、このまま山荘まで行くと人が多だろうと見越して、直前の地点から東方面の、誰のトレースもついていない斜面を滑り降りることにする。斜面の上下に一人ずつビデオ撮影者を配して、順番にトレースをつけながら滑る。その間、一人30秒もかかってないだろう。

登り返して、茶臼岳山荘→山頂へ。団体ツアーらしき集団は、ほとんど避難小屋前から八幡平スキー場へ向かう東側の斜面（恵比寿沢右岸）に滑っていったようで、アスピーテラインへ向かうコースにはトレースはほとんど見えなかった。そのため、気分はいいのだが、次第に雪の重さを感じる。天気もいいし気温も高いのだろう。

一度、八幡平アスピーテラインに合流し、地形図上で1296mの近くまで道沿いをたどる。そこからアスピーテラインのショートカットコースを、方角を見極め、ブッシュと重い雪に引っかかりながら滑り降りると、再びアスピーテラインに合流。

あとは、道路上をそのまま降りると、予定通り15:00頃に駐車場に到着。

（渡辺記）



### 【行程】

リフト (9:00頃)―茶臼岳近くから滑走(11:00頃)―茶臼岳(12:00頃)  
―八幡平スキー場(15:00頃)

### 2007年1月1日 天気 晴れ (源太ヶ岳)

八幡平2日目は、源太ヶ岳に。昨日の感じから雪は少なそうなので、下倉スキー場から入ることも考えていた。しかし、林道の除雪終点までいくと、それなりの雪があり、結局ここから登ることに。

林道は、トレースがうっすら残っている。湯ノ沢を渡る橋の少し手前の尾根に取り付く。ここからは、トレースはなくなる。下のほうは登るのも苦勞するほどの藪があったが、徐々に薄くなる。とはいえ、滑るには多い！

1146mの標高点で夏道と合流し、1550m付近までそれに沿って歩く。その先は、沢型を渡り広い斜面を登る。ここは藪が少なく、快適そう。1350m付近の斜度が緩やかになる辺りで、休憩。ここからは山頂直下の真っ白な斜面が見え、気持ちが高ぶる。西風が強く、尾根の上はウインドクラスト。

最後の150mほどを登りきり、山頂に立つ。風が強いので少し降りたところで、滑走の準備に取り掛かる。できるだけウインドクラストを避けるため、できるだけ北寄りから滑る。重めの雪であったが、楽しめた。

その下の期待していた斜面は、既に極悪モナカ雪であった。全員が転倒しっぱなし、という感じで下った。下部は藪が出ており、単に降りるだけとなった。

(中村 記)

【行程】 駐車スペース(9:20)―山頂(13:00)―駐車スペース(15:10)

### 2007年1月2日 天気 晴れ (大黒森～屋棟岳～八幡平スキー場)

朝一番、大黒森へ向かう最上のリフトが強風のため停止している。仕方なくゲレンデをトボトボ登ることに・・・時折、突風が吹きつける。「なにさ、さぶいじゃん！痛いじゃん！めんどくさいじゃん！（泣）」リフトを横目に見ながら登りって？今日は「登りなしプラン」だったはずなのに・・・

大黒森から屋棟岳は癒しの森の中。距離も短くあっさりと頂上へ到着。五色沼が眼下に見える。本当に雪が少ない。沼が白くではなく、黒々している。

南斜面なので、昼になると雪が重い。まるで春の雪だった。太ももがパンパンしちゃうわ！下部は藪畑と沢が埋まってないので、スキー場まで延々トラバースツアー。

広々とした斜面。そこそこの斜度、滑走距離もなかなか。雰囲気も良し。積雪量ももう少しあって、早い時間のすべり出しだったら雪もいだろうし・・・。ホントはお手軽に楽しめるいいとこみたいなんだけど。去年おいしい思いをした藤本リーダーも、残念そうであった。温泉のあと帰路に。

年末・年始とそれぞれの日替わりで雰囲気の違い山スキーツアーができたので、とても楽しかった。八幡平ってたおやかでいいところですね・・・

(後藤 記)

【行程】 八幡平スキー場(9:00)―屋棟岳(11:20)―八幡平スキー場 (14:30)

いやいや、雪が少なかった。昨年が大当たりだっただけに、楽しみにしていた人に申し訳なく冷や汗ものでした。山屋的に記録価値も無いし、藪と悪雪に苦闘もしましたが、いい所はそれなりに楽しめました。まずは写真をごらんあれ。この一瞬の浮遊感に魅せられ、冬が来るたび浮き足立ってしまうのでしょうか。(藤本 記)

<http://www.tomanokaze.dojin.com/>



茶臼小屋手前（後藤）



茶臼小屋手前（藤本）



茶臼小屋手前（渡辺）



源太ヶ岳（野村）



茶臼岳（池田）



茶臼岳（中村）



源太ヶ岳を登る。

【地形図】茶臼岳、松川温泉